

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			個別のスペースがとれるように改善した。
	2	職員の配置数は適切であるか	○			岐阜県の決まりに沿って運営している。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか		○		バリアフリー化されているとは言えないが、車いす等が必要な利用者がいない為、現状で特に問題なし。
業務改善	4	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○			定期的にミーティングを行って改善した。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			保護者会等でアンケートを実施し、改善に繋げるようミーティングを実施。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			保護者アンケート、自己評価の公開はHP上で行っている。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			○	今後検討していく。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			積極的に研修に参加するように促している。内部研修も充実。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			希望者に対する個人面談等を行っているが、面談を希望しない保護者には子どもの様子をアンケートにて行う様検討
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか		○		標準化されたアセスメントツールになるよう今後検討していく。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			日々のミーティングをチームで取り組むことに努めている。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか		○		意図的に固定化を大事にしている。知識、技術を深め多様性のある支援活動を提供していく。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			休日は外出訓練や調理など活動に取り入れ長期休暇は個別の課題を作成し取り組んでいる。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			子どもの発達年齢や障害特性、特に子どもの実態に合わせて作成している。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			午前中、打ち合わせにて共有している。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか		○		支援後にミーティングは行っていないが活動報告書(共通ツール)を用いて、各自確認をしている。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			子ども達の変化や様子等気づいたことをメモをしている。

	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			半年を基準とした計画の見直しを図っている。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか	○			ガイドラインを意識して実施している。
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか			○	児童発達支援管理責任者を中心に参画している。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	○			連携支援を意識を持ち、送迎時や電話等手段を用いて行っている。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	—	—	—	現在該当なし。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか			○	保育所や幼稚園等利用者が通っていた機関とも情報共有を今後行っていけるようにしたい。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	—	—	—	該当者がいない。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○			モニタリングや電話、面談等で実施している。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか			○	今後、機会があれば活動で提案していきたい。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	○			定期的に参加している。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			連絡ノート、送迎時、電話、面談等共通理解を務めている。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	○			具体的なペアレント・トレーニングではないが、お茶会や個別懇談会を開催して保護者の相談や不安を取り除いている。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			契約時にわかりやすく説明するように心がけている。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			送迎時の声かけや、支援教育経験者による個別懇談を定期的実施している。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○			保護者会等にて父母同士の交流の場を設け、地域支援や家庭支援につなげている。

	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			トラブルやヒヤリハットの内容は連絡帳等に記載しており送迎時に説明しているようにしている。事前に苦情のないように対応している。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			月に1度アイカラーズたよりを発行している。
	35	個人情報に十分注意しているか	○			職員には雇用契約時に秘密保持誓約書へ署名し、利用者は個人情報契約書を交わしている。
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			連絡帳にてその日の様子を知らせている。意思の疎通が難しい利用者については、保護者に直接話すようにしている。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		○		夏祭り等利用者の身内は招待しているが地域住民までは至っていない。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○			各マニュアルを作成し、職員で周知した後、保護者へ配布している。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			避難訓練は年1回。職員や利用者と一緒にしている。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			3カ月に1回、職員が虐待チェック表にてチェックし、外部研修で虐待防止について研修を受けている。各々が意識を持ち、気を付けるようにしている。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○			口頭にて説明し、身体拘束の可能性のある利用者に対しては保護者より、同意書をもっている。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか		○		保護者からのアセスメントにおいて情報を聞き出し対応している。指示書に基づいた対応を行っていききたい。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			ヒヤリハット事例は職員内で話しながら作成し、共有している、管理部会で全体でも共有している。

平成 31 年 3 月 29 日
放課後等デイサービスアイ・カラーズ富岡校